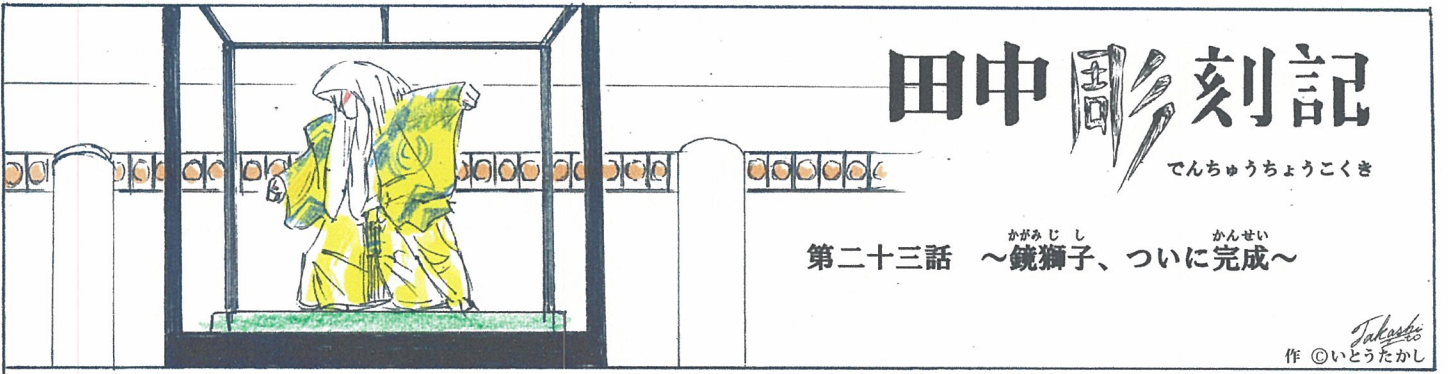


田中彫刻記

でんちゅうちょうこくき

第二十三話 かがみじし ~鏡獅子、ついにかんせい完成~

Takashi
作 ©いとうたかし



きくごろう
菊五郎さん、
み
見ておいてですか



しゅうわ
昭和
32ねんく
年暮れ



ついに2メートル
30センチに及ぶ
かがみじし
鏡獅子の木像が
かんせい
完成しました。

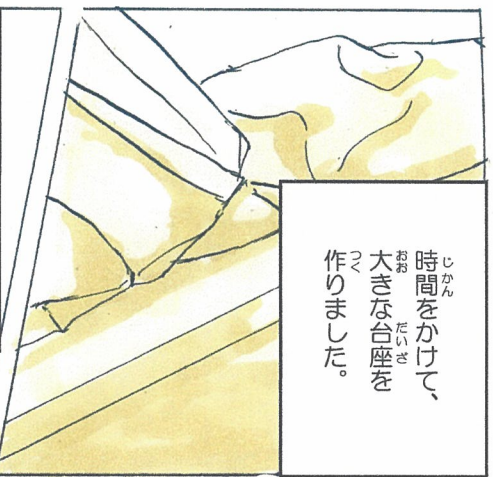
やっや
できましたよ...



彫刻家の平野敬吉に依頼し、
彩色が施されました。



木像には金箔を押し——



時間をかけて、
大きな台座を
作りました。



第二十四話 JINRYA



昭和33年、最初の構想から
20年の歳月が流れていました。

あさやかに彩色された鏡獅子は、
国立劇場に飾ることになりました。



お金は受け取れません
これは私一人の作品では
なく、菊五郎さんと
作ったものですから

飾るのにあたり、国は2億円で
鏡獅子を買おうとしましたが——